

平成 29 年 6 月 3 日(土)ハイキングレスキュー講習会報告

講師：瀬藤 武氏

安全登山委員会主催による講習会「ハイキングレスキュー講習」は、平成 29 年 6 月 3 日(土)、9:30~16:00、飯能市市民会館（会議室 201）の座学や、天覧山から多峯主山近くの登山道で屋外講習が行われた。講習会には日本山岳会会員 14 名と一般 14 名の 28 名が参加し、埼玉県山岳連盟・遭難対策委員長の瀬藤 武氏からセルフレスキューのためのノウハウを学んだ。

講習内容は、午前 2 時間は机上講習として、登山届を出す、せめて家族には入山域を知らせていく、地図は持参し常に自分のいる位置を確認して進む、道迷いを避けるために歩いていて道が狭くなったとか下草が腰まで生えているときは登山道でないなど注意しながら歩く、道に迷ってから地図を見ても遅い、特に秩父は作業道や獣道があり低山なので目印が見つかりにくいので鉄塔や沢の位置など確認しておくことなどを学んだ。11 時過ぎから屋外に出、3 班に分かれて読図をしながら山に入った。また、登山道わきの山の斜面で、各班ごとに負傷者の手当とツェルトの担架を作り搬送訓練を体験した。参加者からは、「セルフレスキューの重要性を感じた」「搬送方法を初めて体験しとても参考になった」さらに次回に向けて、「読図や簡単なロープワークを学びたい」「山の天気講習を受けたい」など多くの意見が寄せられた。

